

集会所や自治会へ 支援の強化を



小野 久一 議員

議員 市内集会施設の多くが指定緊急避難所に、その周辺は指定緊急避難場所に指定されている。避難場所は安全でなければならず、舗装整備は自治会の願いである。市集会施設建設等補助金交付要綱の補助対象事業に加えるべきでないか。

市長 駐車場未舗装地区は約100箇所ある。

玄関前のバリアフリー化や安全対策については補助対象としているが、駐車場舗装などの周辺施設については、地元負担でやってほ

議員 最終処分場建設反対の署名を提出された団体数と署名人数を示せ。その方々の思いを安倍首相や石原環境大臣に届けるのも市長の仕事でないか。

市長 請願・陳情・署名は全体で27件あり、建設絶対反対、詳細調査拒否、選定提示の白紙撤回という内容である。署名の提出は3件で、2万5120名である。

多くの市民の思いを受けとめ、環境省・県・3市町による5者会談の場で国に対して不適地であることを強く主張している。

議員 詳細調査を受け深山嶽に決まったら、政治生命をかけたってこさせないというが、市町村長会議は重く尊重すると言っていることと矛盾していないか。

市長 全く矛盾していない。ここを適地といわれたら猛烈な反対運動を起こす。市有地である道路、牧野の通行を不可にし、徹底抗戦を

する覚悟である。



舗装整備をまっている駐車場

栗原市の農業・ 林業・内水面 漁業の条例化を



菅原 久男 議員

議員 栗原市の農業・林業・内水面漁業振興条例を制定すべきと考えるがどうか。

市長 現時点では、条例の制定は必要ないと考えている。

栗原市は、古来より地域の特性を踏まえ独自の農林水産業を展開してきた。

栗原市総合計画、栗原市農業ビジョン、栗原市農業振興地域整備計画や栗原市森林整備計画が目指す農林水産業の振興に向けて関係機関と連携し、市民と一体となった地域振興に取り組

みながら農林水産業の持続的発展を目指している。

農業振興は、担い手への農地集積、良質米の栽培を柱に、大豆など土地利用型作物の団地化を支援し、高品質高収量化および低コスト化に向けた技術の普及に努めている。

議員 農林水産業に取り組む市長の市政は、国や県より先んずる施策を講じており、このことは認めている。市長は、条例の重みは、ご存じのはずである。

現時点では、条例の制定



山間農地の有効活用をめざすハウス栽培

は必要ないとのことであるが、富士山の登山に例えれば何合目あたりか。

市長 市の総合計画、農業ビジョンなど各施策を関係機関と連携し、変化する中でどうあるべきかを考え対応していく考えである。

何合目かとの問いは非常に困るが、裾野にいるとの感覚でよいのではないか。

ほかに、栗原市自歩道用除雪機貸与についても質しました。



候補地である深山嶽西端の崩落現場

指定廃棄物の最終処分等に関する調査特別委員会 中間報告

①栗駒深山地域は、平成20年岩手・宮城内陸地震で大規模な崩落が発生した地域である。今回の現地調査でもいたるところで亀裂が見られ、候補地西端では大規模な崩落が確認された。

調査結果

栗駒深山嶽が県内の指定廃棄物最終処分場の詳細調査候補地に選定されたことを受け、当該候補地の現地調査および汚染稲わらの一時保管期間の長期化に伴う調査を実施しました。

また、火災などに備えた体制整備やセンサーの設置などを検討されたい。

選定方法の基本的考え方は、「自然災害のおそれがある地域を除外」と明記されており、最初から候補地となるべき要件を満たしていないことは明らかである。

平成26年度 議会報告会を開催

本年度で3回目を迎える議会報告会は、全議員が4班に分かれて各地区に伺い、市民の皆さんと意見交換を行う対話の場として次のとおり開催いたします。

■議会報告会の開催日程

※開催時間は、午後7時から午後8時30分まで。

開催日	地区	開催場所
10月28日 (火)	築館	市民活動支援センター
	若柳	若柳多目的研修センター
	栗駒	栗駒総合支所
10月29日 (水)	瀬峰	瀬峰総合支所
	一迫	一迫ふれあいセンター
	鶯沢	鶯沢振興センター
10月30日 (木)	金成	金成生涯学習センター
	花山	花山石楠花センター
	高清水	高清水総合支所
	志波姫	この花さくや姫プラザ

集団的自衛権 「閣議決定」で憲法解釈を変えるな



菅原 勇喜 議員

議員 安倍総理は憲法9条を根本から破壊することになる集団的自衛権行使容認の閣議決定を行おうとしている。集団的自衛権行使とは、日本が攻撃されていないにもかかわらず海外で武力行使することであり、これは「海外で戦争をしてはならない」という憲法上の歯止めを取り外すものである。

①閣議決定で憲法解釈を変えてはならないと考えるが如何か。

②栗原市出身の自衛隊員は陸・海・空に何人いるのか。

③戦後69年、日本は一切戦争をしていない。これは、世界に向けて平和を誓った日本国憲法があったからである。市長におかれては、この憲法を守る決意を高らかに宣言し、行動を起こされるよう求めるが如何か。

市長 慎重に議論を重ねる必要がある。

①憲法改正については、多角的な視点での議論が必要。「集団的自衛権」の行使についても同様で、広く国民の意見を聴き、慎重に議論を重ねる必要がある。



閣議決定を報じる新聞

②平成26年4月1日現在、陸上305人、海上53人、航空76人、合計434人の自衛隊員が在隊している。

③憲法論議については、広く国民皆様の意見を聴くことが肝要であるので、私自身が宣言する必要はないと考えている。

ほかに、県立大学医学部構想の経緯と展望、東北大学医学部の理解・協力についても質した。東北大学からは全面協力の回答を得ている。とのことだった。

子供たちのために!!

私は、小学生の子供が二人います。高清水と瀬峰の中学校の合併問題の話がありますが、やはり地元から中学校がなくなるのは寂しいし、反対です。

しかし、部活動の数が少なく、子供たちがやりたい部活動がなく、違う中学校へ転出しているのが現実なので、合併するとなれば、部活動の種類の確保、通学パスの手段をきちんと対応していただきたいと思います。

栗原市は、子育て支援には力を入れていると思うので、これからもますます子育て支援には期待をしています。

また、高清水には子供たちが安全に遊べる場所が少ないので、公園など、楽しく遊べる場所を確保していただきたいと思っています。来年には、高清水にトヨタの新工場も完成するので、産業活動の期待もしています。



木村 祥子さん
(高清水)

私もひとこと

今こそ 青年たちに期待したい



高橋 すすむさん
(栗 駒)

今、日本は少子・高齢化社会に直面し、その影響は多岐にわたると思われれます。

一例として、地域での生活が何かと不便となった限界集落の存在が言われています。市においても手をこまねいては他人事ではないと危惧するものです。

市役所・市議会においても危機感をもって取り組まれているところですが、新しい感覚と知識を持ち備えた若い人の社会参加を真剣に考えてもらいたいものです。

若僧に何ができると言わず、可能な限りいろいろな場で主役になってもらい、積極的に活動してもらおうべきだと思います。

若い人に何かの役を依頼すると、決まって尻込みされてしまいます。しかし、私の経験ではその立場に立つと想像以上の力を発揮するものです。今こそ諸課題の解決のため、地域の若い人の知恵を借りる時だと思っています。

あそびがき

栗原市が誘致を望む宮城大医学部栗原キャンパス、環境省から候補地として提示された指定廃棄物最終処分場については、今回も多くの議員が一般質問をしています。

質問の中で、「医学部誘致と処分場建設は、県と取り引きしているのではないか。」との問いに、市長は即座に「まったく根拠のない噂話」と断言しています。深山嶽への指定廃棄物最終処分場の建設は、市長も議会も絶対反対です。

今は夏本番、子供たちは海や山へと楽しい季節ですが、水難や事故・事件には十分注意してください。日々暑さ厳しき季節柄、ご自愛の程を。

佐藤 千昭

広報編集調査特別委員会

委員長	佐々木 脩
副委員長	佐藤 範男
委員	菅原 喜
委員	菅原 渉
委員	高橋 久
委員	菅原 久
委員	藤原 昭
委員	藤原 昭
委員	佐藤 悟
委員	高橋 悟
委員	小野 久
議長	石川 正運